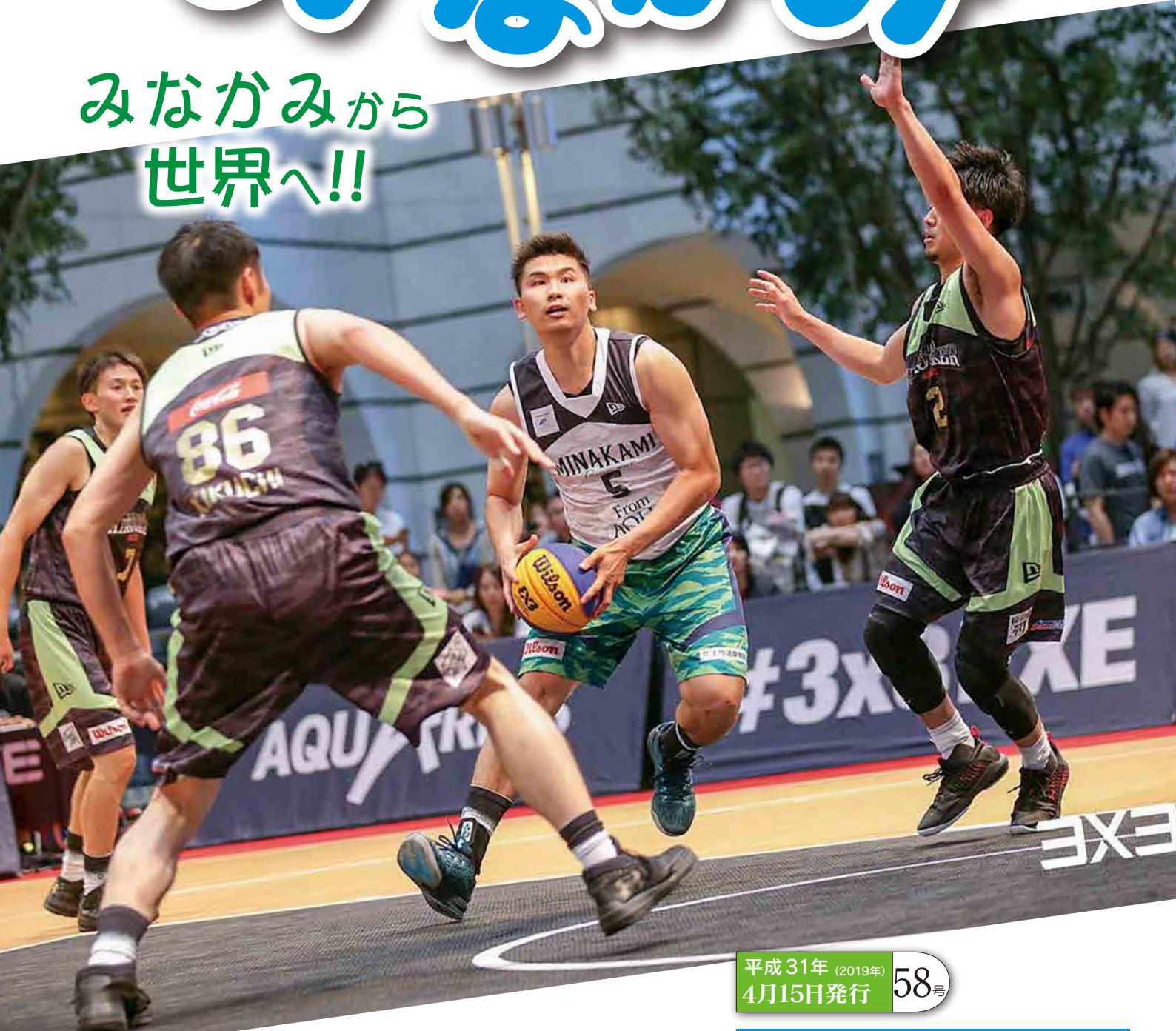


議会だより みなかみ

みなかみから
世界へ!!



平成31年(2019年)
4月15日発行 58号

特集

期待^{ふく}膨らむ 町長初予算



バックナンバー
が見られます。

群馬県利根郡みなかみ町

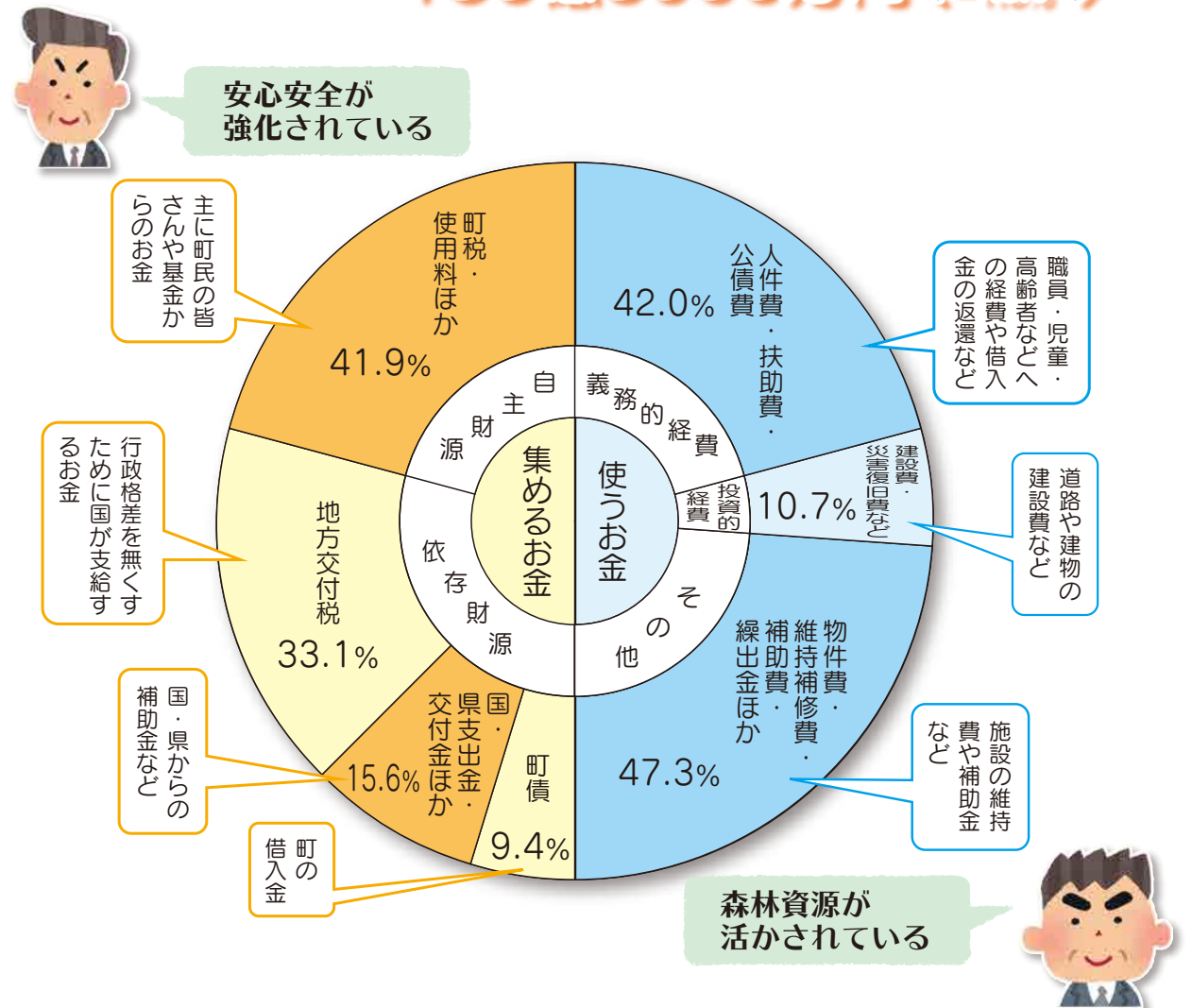


3月定例議会

特集	2
本会議審議内容及び結果	6
一般質問	9
活動報告	16
ご意見・回答	19

表紙写真：プロバスケットボール「3×3」(関連20頁)

平成31年度 一般会計当初予算 136億8000万円 (前年度比 -1.3%)



期待膨らむ 町長初の予算 可決

平成31年度当初予算を全会一致で可決した。一般会計予算は対前年度マイナス1.3%、特別会計を含めた総額では、対前年度マイナス1.8%となった。本予算は、町長初の予算組みであり、公約が盛り込まれている(●印)か、またこれまでの議員の提案が活かされている(◎印)かなどに注目した。 ※関連4~5頁

予算討論

公約が活かされている

国民健康保険特別会計

● 牧田 直己議員

県と市町村が一体となった制度改革で、前年度対比2900万円減の予算が編成され、財政の安定化が図られている。

後期高齢者医療特別会計

◎ 阿部 清議員

前年度同様の予算編成となっており、主に広域連合へ納付する負担金であり、運営上必要な予算と認められる。

介護保険特別会計

◎ 鈴木 美香議員

制度の運営上、また町が支援するという上で必要な予算と認められる。

議員提案が活かされている

産業・移住定住促進費

●◎	新幹線の通学、通勤補助 (関連11頁) 480万円
●	町営住宅リノベーション等 (関連6頁) 2160万円
●	ローカルベンチャー創出・育成支援等 (関連4頁) 1000万円
●◎	観光情報発信等 1476万円
●◎	トレーニングマシン購入費等 124万円

子育て、福祉支援費

●	子ども子育て支援等 (関連13・14頁) 261万円
●	プレミアム付き商品券 (関連4頁) 1012万円
●	学校教育施設整備基金 (関連6頁) 3億円



防災対策費

●◎	消防団運営等 (関連6頁) 5855万円
●	防災倉庫整備等 (関連4・11頁) 4991万円
●◎	防災無線整備 (関連4頁) 500万円



ユネスコエコパークの町

●	ふるさとキラキラフェスティバル等 2900万円
●	森林環境譲与税活用等 (関連4頁) 807万円
●	木育推進等 1131万円
●◎	薪ストーブ等設置費補助金 300万円



委員会

予算連合審査会内容

平成31年度予算を3常任委員会合同の予算連合審査会で詳細を審査した。
※関連2～3頁

歳入

質 森林環境譲与税の用途は。今後は増えるか。

答 まずは現況把握、林地台帳整備等の基礎調査に充てる。森林環境譲与税は段階的に増えていき、県の試算では最終的に2900万円程度が見込まれる。

歳出

子育て支援

質 つきよのこども園が開園して3年経過したが、検証の見解を。

答 検証は必要なことである。しかし今後の方向性は検証結果が出てからの話。

結果が出てからの話。

質 認可外保育施設休日保育事業費補助金は、今年10月から幼児教育費が無償となるので、需要が増えると思うが、その費用は必要ないか。

答 今まで実績が少なかったため予算計上は縮小している。利用者増加で予算が不足した際は補正予算で検討したい。

質 プレミアム付き商品券事業の内容は。

答 10月からの地方消費税増税に伴い実施。対象者は低所得者と子育て世代。最高額2万5000円の商品券を2万円で購入し、5000円のプレミアムが付くもの。



安心安全な防災

質 川場村や昭和村と比較すると、防犯カメラの設置数が少ない。積極的に設置場所を増やしては。

答 添架料を求められるので、設置個所の増加を図ることが厳しい実情がある。

質 防災無線整備事業の調査設計委託料。31年度は工事着手の予定であったはずだが、進捗状況は。

答 30年度の調査で大峰山と藤原に中継局を設置すると広範囲を網羅できることが判明。県防災無線の鉄塔があり、町はそれを活用してもらえよう県と協議をしている。また添架による影響等の検討により事業費も変わる。もう一年調査をさせていただく。

※1 電柱の使用料。通信線やテレビ共聴線などを取り付けること。

質 災害対策用防災倉庫整備事業には土地購入費等の計上がない。場所は既に確保されているのか。どのような施設か。

答 30年度の調査で大峰山と藤原に中継局を設置すると広範囲を網羅できることが判明。県防災無線の鉄塔があり、町はそれを活用してもらえよう県と協議をしている。また添架による影響等の検討により事業費も変わる。もう一年調査をさせていただく。

国民健康保険特別会計

質 国保会計が県に移行して問題は。値上げの心配は。

答 制度として安定感がある。医療費全体は下がっているが、国からの公費等がそれ以上に下がっており、どの町村も県への納付金が上がっている。町は繰越金や基金等で値上げは据え置く。

介護保険特別会計

質 今後、介護要望がますます増えると思うが方策は。

答 昨年度に推計した将来の認定数では、65歳以上の人口増減が横ばいになってくる状況であり、認定者も極端に増えることはない。医療では健康事業に、介護保険では予防に努力していきたい。

下水道事業特別会計

質 公共下水道水上処理分区分区建設事業費5000万円。全戸加入が前提と事前に確認をとれてきていたか。

答 整備する前に地元から要望をいただき説明会を行った。整備する以上は基本的には全戸流入ということで着手した。

答 新たな地域防災計画では月夜野農業農村改善センターを代替拠点と位置付けている。隣接地に防災倉庫や備蓄庫を整備する。

質 湯原地区公共施設最適化事業の詳細は。

答 湯原地区の観光会館、社会体育館、公民館はいずれも老朽化が顕著である。地域への説明やワークショップ等で施設の長寿命化だけでなく、リニューアルや合築等を踏まえたあり方を検討するもの。

新たな取り組み

質 ローカルベンチャー育成支援事業1000万円だが地方創生交付金500万円では不足するので説明を。委託先の会社の社員が創業の支援と起業を育てるのか。

答 差額は一般財源の持ち出しになる。官民連携で、官は町の資源を紹介し、民は持っているノウハウで人材を確保し育てるところを担う。町の産業を担う人材排出の仕組みを構築する。

委員会討論及び審査結果

● 一般会計 全会一致
討論はなく可決すべきものとして本会議へ報告

● 国民健康保険特別会計 全会一致
討論はなく可決すべきものとして本会議へ報告

● 後期高齢者医療特別会計 全会一致
討論はなく可決すべきものとして本会議へ報告

● 介護保険特別会計 全会一致
討論はなく可決すべきものとして本会議へ報告

● 下水道事業特別会計 全会一致
討論はなく可決すべきものとして本会議へ報告

● 水道事業会計 全会一致
討論はなく可決すべきものとして本会議へ報告



3月議会 あらまし

5日から15日までの会期で3月定例議会を開いた。人事議案6件、専決処分報告2件、契約2件、条例15件、補正6件(8頁)、当初予算6件(2~5頁)、その他4件、発議2件を議決した。このほか請願(8頁)を審議し、一般質問は6名であった(9~15頁)。

※1 町長が議会に代わって意思決定を行うこと。
次の会議に報告し、規程のないものは承認を求めなければならない。
※2 議会から上程する議案。

本会議審議内容及び結果

人事

全会一致同意

固定資産評価審査委員を選任

次の3名の方々を固定資産評価審査委員会委員として全会一致で同意しました。任期の3年間よりしくお願いいたします。

神保 進氏(入須川) 再任
榎 哲夫氏(月夜野) 再任
木暮 勤氏(川上)

※3 適した人を複数人の中から選んでその任務に就かせること。

教育委員を任命

次の方を教育委員会委員に全会一致で同意しました。任期の4年間よりしくお願いいたします。

根津 公安氏(月夜野) 再任

※4 特定人に公務員の身分を与える行為。

農業委員を選任

19名の方々を農業委員会委員として全会一致で同意しました。任期の3年間よりしくお願いいたします。

条例

全会一致可決

消防団員制度の充実

団員報酬の引き上げと機能別消防団員制度を導入し、団員の確保と負担軽減を図る条例改正。

学校統合に備えて

今後の学校統合に向けては、施設の建設や修繕等の整備に相当の財源確保が必要なため、教育施設整備に必要な一般財源を確保する基金設置条例。

多目的広場の利用開始

町民、町外の方が多目的広場を使用する際の料金を明記した条例。町民の使用料は無料。

公営住宅の有効活用

公営住宅の空き室の一部を町内の子育て世帯や町外からの移住定住希望者が入居しやすい住環境に整え定住を促進。

定住促進住宅の特徴

対象者は、町内の方及び町外からでも移住定住希望者で夫婦の年齢合計が90歳未満の若年夫婦や中学卒業までの子どもまたは妊婦がいる世帯。さらに公営住宅の用途廃止をしているため、永住権の無い外国の方でも申請が出来る。
家賃は、一律3万5000円。
入居期間は、5年以内。
※今回は2戸

議会では、産業観光常任委員会に付託して審議を行った。定住の促進を図りながら、入居率が低下している公営住宅の有効活用も出来るとして、全会一致で可決すべきものとして委員長報告を行った。利用状況も含めて注視していきたい。

議会の流れ

3月5日 本会議

上程及び審議
・高原千葉村売買契約(本頁、委員会付託議案、補正及び新年度予算以外の議案を全会一致で可決)

3月6日 本会議

一般質問(9頁~15頁)

3月7日 委員会

予算連合審査会(4~5頁)

3月8~11日 常任委員会

総務文教常任委員会
「陳情2号」(8頁)
厚生常任委員会
産業観光常任委員会

3月12~13日 特別委員会

議会だより編集特別委員会
ごみ処理調査特別委員会

3月15日 本会議

審議

・陳情(8頁) 趣旨採択
・付託案件(6頁) 全会一致可決
・補正予算(8頁) 全会一致可決
・新年度予算(2~5頁) 全会一致可決
・ごみ処理調査特別委員長中間報告 全会一致可決
・発議 議員辞職及び議会構成上程(21頁) 全会一致可決

契約

賛成多数 12:5

高原千葉村の売買契約締結

本年3月31日で廃止される千葉市高原千葉村の土地及び建物等を確保するための契約を賛成多数で可決した。

土地は、宅地、山林、雑種地、原野、他で41万4430.61平方メートル。金額は、土地が861万6000円、建物が1181万4000円の合計金額2043万円。

賛否討論

▼大きな負となり得る
反 中島 信義 議員

千葉市の撤退は運営上難しくなってきたということ。町が引き受けこれから構想を練ったとしても、大きな負となり得ると思う。行政が進めていくには、大きなリスクを背負う。この売買契約の内容も含めて反対したい。

▼町に役立つ運営をして欲しい
賛 窪田 金嘉 議員

大賛成。今買わなければいつ買うのか。金額約2000万円は安いと思う。今後、負の遺産としない戦い方、経営の仕方は頭の中にある。手に入れて地域や町の役に立つような形で運営して欲しい。

▼協議を再三重ねた結果のこと
賛 高橋 市郎 議員

長年かけて特別委員会等で議論を重ねた結果が今ここにある。千葉市との協議を再三重ねた結果が現状である。赤谷地区の方々、また猿ヶ京地域の方々からの要望書等も出ている。地元においては非常に憂慮する案件と思う。民間に売却をされたときの不安が大きな争点になったようなこともある。町が取得しない限り新しい民間との協議等も進まない。未来に向けてどうするかという前向きな議論にしていくためにはないか。

町の検討経緯概略

平成23年8月(千葉市)

行政改革で施設譲渡の検討

平成25年8月(千葉市)

譲渡協議文書提出

・施設無償譲渡

・千葉市の生徒受入

平成26年12月(当町)

概算修繕費用6億5000万円

で条件受入を要望。

平成28年9月(千葉市)

施設修繕又は費用負担等、

要望に応えられない回答。

今後、民間のノウハウによる

土地有効活用。又は町の事業用地としての活用を協

議、検討したい旨の回答。

平成29年8月(当町)

教育研修研究施設として

民間活用を導入、活用して

いく方針を千葉市へ提示。

平成30年3月(町千葉市)

千葉市高原千葉村譲渡に

関する覚書締結。

平成30年3月(当町)

平成30年度当初予算に、

土地、建物を取得する費用

を予算化。

町政を問う

一般質問 Questions

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。
 執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。
 定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

- 阿部 清** あべ きよし
 - ① 成人年齢18歳に引き下げ、町の対応
 - ② 臨時職員の雇用
- 本多 公保** ほんだ きみお
 - ① 公職選挙法40条の運用
 - ② 高等教育機関の給付型奨学金
 - ③ 防災全般
 - ④ 資源リサイクルセンターの運営・メンテナンス等
- 窪田 金嘉** くぼた かねよし
 - ① 歳入について
- 高橋 久美子** たかはし くみこ
 - ① 子育て環境の充実
 - ② エコパークとして環境整備の充実
- 牧田 直己** まきた なおき
 - ① 人口減少の具体的な方策
 - ② 出入国管理法施行によるみなかみ町の外国人労働者受け入れ体制
- 茂木 法志** もぎ のりゆき
 - ① ユネスコエコパークについて

陳情

12月定例議会で継続審査となった陳情1件について審議した。
 本会議での質疑討論はなく所管委員長の報告の通り趣旨採択となった。
 所管委員会の審査は、「国際社会の協調、対話で解決していく姿勢が大切。一步進める観点から採択でなく趣旨採択がよい」との意見から趣旨採択すべきものとした。

陳情	陳情件名	陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審議結果
第2号	「核兵器の禁止条約の署名・批准」を求める意見書の提出を求める陳情書（12月定例議会継続）	沼田市恩田町20 利根沼田平和委員会 副会長 穂苅 清一	総務文教 常任委員会 趣旨採択	全会一致 趣旨採択

補正

一般会計及び5つの特別会計の補正予算を審議した。
 各会計とも討論はなく全て全会一致で可決した。
 一般会計補正予算での主な質疑を紹介する。



総額 144億2100万円
 補正額 1億3556万円

歳出

ふるさと応援基金	12000万円
議員報酬	△1035万円
里地里山保全整備	△3023万円
除雪費	6000万円
ほか	

歳入

町民税	5000万円
地方交付金	2000万円
緑の県基金補助金	△3023万円
ふるさと寄付金	13500万円
ほか	

一般会計

▼全会一致可決

繰越額の増は 予算圧縮手法か

問 花火大会事業が繰り越し事業とある、本来は当初予算計上で行うのでは。前年比で繰り越し事業は8つ増え、約3億円が増えている。新年度予算の圧縮手法と見えるが見解は。

答 花火大会は当日1日で終わる事業ではなく関係機関に協力を頂き調整に時間がかかる。努力はしているが予定通り行かないことがあり繰り越しとなった。工事等の事業においても国の年度末補正で執行時間がとれなかった。年度内に事業完了が見込めないもの等不測の日数を要し繰り越した。

里地・里山整備費の 減額理由は

問 「里地・里山整備保全事業」の委託料は要望の多い事業だが、減額の経緯と対策は。

答 県から不採択とされた事業区域や当年度以降の管理等の調整で時間を要したため。また、初めて入札に取り組んだが、参加事業者の確認や調整にも時間がかかった。今後は放置竹林の要望が多いため、優先順位を付けながら出来るだけ多くの要望に応えられるよう地域事業のとりまとめや調整を効率的に行いたい。





阿部 清 議員

若者の自己破産が増える懸念

町長 環境整備を充実させ対策を講じる

問 2022年4月1日から成人年齢が、20歳から18歳に引き下げられることが正式に決定された。今後、親の同意なくクレジットカードやローンが組めるようになると若者の自己破産が増えると懸念されているが。

答 町長 学校組合理事長として、理事会、教育委員会と現状の教育カリキュラムの中にどのような対応が可能か研究していく。

答 教育長 3学年同時に実施する場合、該当者が456名、出席率を80%と考えると、365名になり、カルチャーセンターでの開催は難しい。開催の年齢、方法も含め、検討していく。

答 町長 町は60歳定年で辞めた職員を再任用として任用している。その人たちに引き続き活躍していただくか、新たに臨時職員を採用した方がいいか検討していく。

問 現在、臨時職員は時給制で働いている。今後、条例を改正し給与制や期末手当を支給する方向で進めているのか。

答 町長 施行までに、環境整備を充実させ、消費者相談窓口や消費者教育の対策を講じる必要が考えられる。

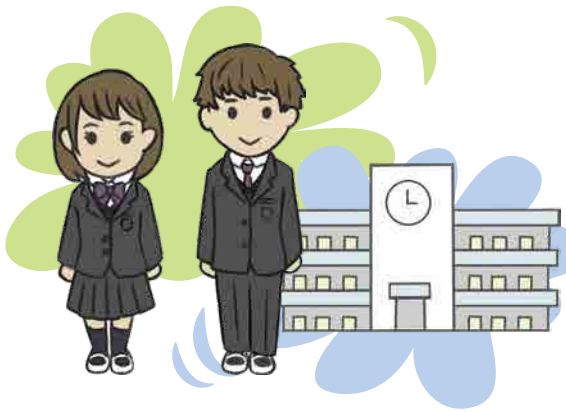


イラスト 利根商生 作

問 現在、未成年者が刑法犯罪を起こしても、実名報道されることなく家庭裁判所で審判されている。高校がある町としてリスクが回避できる対策は。

問 2023年1月の成人式は、20歳、19歳、18歳と、3倍の人数の新成人が対象となり、現在行なっているカルチャーセンターでは無理と思うが。

問 地方公務員法及び地方自治法の一部が改正され、2020年4月より会計年度任用職員制度が施行される。制度改正後も現状の臨時職員の人数を雇用していくのか。

※1 自治法の改正で自治体の非常勤職員の身分が変わる。具体的な労働諸条件は自治体により異なる。

答 総務課長 基本的には給料及び期末手当も支給される。ただ、パートタイムでの任用の場合、勤務時間により期末手当は支給できない場合もある。条例については、早ければ6月、遅くとも9月という形で提案させていただく。



本多 公保 議員

投票所の閉鎖時間繰り上げを

現時点では考えていない

選挙管理委員会書記長（総務課長）

問 前回の参議院議員選挙で群馬県935投票所のうち846カ所で、1時間から3時間繰り上げている。これは全投票所の9割を超えている。午後8時までやったのは当町を含む8カ町村だけである。このことをどう思うか。

答 選挙管理委員会では変更を考えてはいない。

問 広域を含めた消防、役場職員、議会、各種団体、できれば病院を含めた防災訓練の実施をしては。

問 地震、豪雨、台風など自然災害に対する町の備えはどのようになっているか。

答 町長 訓練は非常に大切だと思っている。何地区かでは実施している。これからも訓練の実施に向けた取り組みに努めていきたい。

答 教育長 町の現状は持たせないことを基本にしているが、文科省の今後の研究を注視したい。

答 選挙書記長 町の選挙管理委員会としては、繰り上げをして投票の機会を奪うのではなく、できるだけ投票機会を設けることが基本にあると考える。

問 たとえ1時間でも繰り上げて、少しでも早く開票結果を町民に知らせてほしい。

答 町長 以前にハザードマップを作成して全戸に配布してある。また自主防災組織が全地域に組織されている。町民の皆さんが危機意識をもって災害に備え、防災に対する意識を高めていただきたいと思います。



問 新幹線で通学する生徒に補助を出すか公約に掲げているか。

答 町長 新年度予算で県外に行つて勉強する学生に、その一部を補助しようとして提案させていただいている。



窪田 金嘉 議員

歳入減少に危機感

町長 将来的に抜本的改革が必要

問 予算は誰のものか。私は町民のものと思う。

答 町長 予算は、町長が会計年度予算を調整し執行管理するもの。

問 予算案は、誰のために作成しているのか。

答 町長 予算は、住民の福祉の増進を図ることを主目的としている。

問 予算（歳入）は、依存財源（約58%）と自主財源（約42%）の合計か。

答 町長 財政構造分析では、依存財源と自主財源の区分は歳入の調達の方法性を基準とした分類。

問 依存財源（約58%）は、自分の力で生み出せない財源か。

答 町長 依存財源は、町が自ら徴収できない財源。但し、毎年度の地方財政計画において地方財源は国から補填されている。

問 自主財源（約42%）は、自分の力で生み出せる財源か。

答 町長 いろんな規定があつて、それに基づいて徴収するわけですから、私の裁量ではどうにもならない。

問 将来的に歳入は増えるのか。

答 町長 地方財政は国家財政と一体であり、将来的に歳入の増加は困難。

問 国は30%の新規国債（借金）をし、県は県債（借金）や地方振興・福祉両基金を取り崩してまで予算作成している。町も自助努力の気持ちを持つては。

答 町長 行政改革をして、歳出を切り詰めるながら地域経済活性化刺激策を展開。若者が住み良い施策、さらに収入が上がる施策を展開し、町の財政を考えることが必要と思う。

問 歳入減少と社会保障・医療費上昇のバランスの対処は。

答 町長 社会保障の運営は、国保会計・介護保険会計・後期高齢者会計があり、基本的には国の財源に依存するところが多い。町独自では税を負担していただいているが難しい課題。



高橋久美子 議員

休日保育で安心して働ける環境を

町長 民間の事業者に働きかける

問 千葉県で小学生が虐待を受け、亡くなる痛ましい事件があつた。当町は虐待にどう対処しているか。

答 町長 要保護児童対策地域協議会を設け、関係者間の情報共有を深めるため毎月開催している。また妊娠・出産、その後の健診などを通して保健師が母子の継続観察を行い、相談しやすい関係性を独自に構築。

問 虐待が疑われた場合ダイヤル189「いちはやく」に通報することが重要。189の周知徹底に取り組んでいただきたい。



ダイヤル189
チラシ

答 町長 何かあつたら、連絡していただきたいとのPRをしていく。

問 体罰は駄目ではないとの意識啓発が必要とされている。県が配布している児童虐待防止のための親子トレーニングDVDを活用しているか。

答 子育て健康課長 まだ活用していない。今後子ども園とか関係するところで活用を進めたい。

問 この10月より、幼保無償化が始まるが、ファミリリーサポートセンターについても適用されるか。

※2 児童の預かりの援助を受けることを希望する者と援助を行うことを希望する者との連絡、調整を行うもの。

答 子育て健康課長 適用される。

問 周知徹底をお願いしたい。国も働く親御さんのために本格支援を開始した。休日保育を検討し安心して働ける環境の整備を。

答 町長 町でやるのは重いかなという感じ。民間の事業者に働きかけをしたいし、支援もしていきたい。

問 町のこども・子育て支援計画では、病児保育について町内の病院等に運営委託の検討と記されているが、現状は。

答 町長 町内の病院にするか、広域参画にするかの考え方があつた。いろいろな方面から調査、研究をしていきたい。

こんな質問もしています

- ・赤ちゃん先生プロジェクトの活用の考えは。
- ・学童保育について
- ・通園バス代
- ・不法投棄・道路沿線のポイ捨てごみの対策
- ・犬・猫の糞について

※1 虐待を受けている子どもを始めとする要保護児童等への適切な支援を図ることを目的に地方公共団体が設置・運営する組織。地域の関係機関等が子どもやその家庭に関する情報や考え方を共有し、適切な連携の下で対応していく。



牧田 直己 議員

町長 婚姻率と出生率は因果関係がある 人口構造を安定させる

問 当局が掲げる人口減少対策の目標に「2060年に人口推移を1万2300人で維持させる」とある。達成するための具体的な対策は。

答 町長 2020年までに社会増減数をゼロに、長期的に合計特殊出生率2.1人を目指す。新年度から移住定住促進を狙い新幹線通学通勤費補助事業を行う。

問 合計特殊出生率を上げるためには未婚率（対象者は25歳から39歳の方）に着目すべき。当町では全国・県内と比較して非常に高い。国立社会保障・人口問題研究所の調査では「未婚者が感じる結婚へのハードル」という質問に対し、第1位が圧倒的に『結婚資金』とあることから、町独自の結婚支援補助金を設けることで結婚へのハードルを緩和する一助になるのでは。

答 町長 「子育て家庭住宅整備補助制度」がある。国の「結婚新生活支援補助金」は要望が少ないため、新年度は予算措置していない。検討する価値はある。

※1 ある地域の外に住民が引越していたり、よその地域から引越して来たりすることによる人口の増減のこと。

子育て世代への支援

問 国は10月から幼児教育無償化を行う。町内で土日祝日運営している認可外保育施設も対象となるため、需要の高まりが予想されるが対応は。

答 町長 10月になってみないと町民の皆さんがどう考えているかわからない。早く情報を収集し親御さんが困らないよう対応をしていく。



外国人労働者受け入れは

問 政府は地方の労働者人材不足に対応するため新たな在留資格を設ける。そして、5年間で最大34万5000人の外国人労働者を新年度から受け入れる予定。当町には何人の外国人労働者が来るのか。

答 町長 現在、町内に在留している外国人は306人。働いている外国人の数は150人前後と推測。現状働いている人でさえ国籍、人数、職種、雇用形態等の正確な把握はできていない。



茂木 法志 議員

町長 「ユネスコエコパーク登録」を活かす 普及啓発を継続する

問 町民のユネスコエコパーク(BR)の認知率は。町内小中高등학교ユネスコスクールへの登録の平成31年度までの進捗状況と町長の認識は。

- ※1 生物圏保存地域(BR: Biosphere Reserves)の略。「自然と人間の共生」を目的とする取り組み。
- ※2 ユネスコ憲章に示される理念実現のための平和や国際的な連携を実践する学校。文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ESDの推進拠点として位置付けている。
- ※3 教育、科学、文化を通じて諸国民間の協力を促進し、平和及び安全に貢献することを目的に掲げている。
- ※4 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育。

答 町長 認知率は目標値の80%を既に上回っている。報道やPR活動の結果、認知度は高まっていると思う。

答 教育長 ユネスコスクール登録は、桃野小学校、藤原小中学校、月夜野中学校、利根商業高等学校の4校がチャレンジャー期間にあり、今後順調に審査に合格すれば平成31年度末頃、認定されると思っている。

問 登録は、町独自の教育学習として強みとなると思う。登録の意義とユネスコ憲章に基づく学習内容の充実は。

答 教育長 ・BRの理念を踏まえ、学校が町ぐるみで郷土愛を高められる。
・新学習指導要領に示されたESDの推進に力を入れられる。
・地域学習を生かした「社会に開かれた教育課程」の充実につながる。
以上3点が意義として考えられる。

問 認知率に対する町民意識の質を向上させていくための具体的な取り組みは。

答 町長 対象を意識して情報をこまめに発信し、BRがもつと暮らしにつながっていると感じやすくするような伝えていく。

問 全国各地で推進されてきているSDGsの取り組みとは。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標

答 町長 みなかみBRの取り組みが17あるゴールのどこに貢献できるかを明確に位置づけていく必要がある。SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業の認定に向けて進めている。

問 日本のBR活動を強化していくことが必要で、BR推進活用していくための拠点となるセンター設置と体制づくりの方策は。

答 町長 世界に貢献していくためには、推進拠点となる施設と将来を見据えた推進体制づくりは極めて重要な課題である。

※5 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略。より良い世界の実現に向け、世界各国が問題を解決して持続可能な社会を作るための17の目標。

SDGsの17の目標

活動報告

RDFボイラー実証試験の実情

〜ごみ処理調査特別委員会中間報告〜

平成30年8月に前町長が議会解散の争点として、町民に多大な不安を与えた「遊神館RDFボイラー実証試験事業」に関し、これまで取り組んだ委員会の現地調査及び聞き取り調査結果を報告する。

経緯調査

委員会では、これまで議会全員協議会や厚生常任委員会で報告してきた事象について改めて時系列

に整理した。特に実証試験事業の経緯や平成29年からのRDFの取扱方法の変更に係る既契約者との契約終了の過程について関係者(町、SKM、関商店)から確認

すべき事項について聞き取り調査を行った。しかし「町からの断り」等、関係者間での意見で整合が取れない部分がある。

時系列整理

平成10年	・RDF(固形燃料)製造開始 ・奥利根アメニティーパーク内発電の燃料化
平成18年 8月	・発電施設熱交換器等不具合事故で稼働停止 ・RDF利用不可 ・RDFを有価物として(関商店)へ1,000円/1トンにて販売 ・I K E※2に運搬費として21,000円/1トン計上
平成26年	・生ごみ分別実施による乾燥燃料の削減 ・奥利根アメニティーパーク内経費削減、稼働時間削減
平成29年 5月	・RDFを一般廃棄物(最終処分)として(関ウイズ・ウェイスト・ジャパン)に39,000円/1トンで委託
平成29年10月	・『RDFボイラー実証試験事業協定書』締結(町と民間事業者)
(前町長就任後)	・事業者、韓国製ボイラーを遊神館へ設置開始(民と民) ・前町長はRDFボイラー推進 ・事業推進不備として協定書の変更指示
平成30年 5月	・前町長方向転換、本事業の疑義を唱える
(前町長一連報道)	・議会解散の争点に
平成30年12月	・ごみ処理調査特別委員会設置
平成31年 3月	・協定書変更には至っていない ・行政財産使用許可、大気汚染防止法に基づく「ばい煙発生施設設置届出書」等の事務手続き未完了



町内で製造されているRDF(固形燃料)

※1 神鋼環境メンテナンス(株)の略称
※2 (株)IHI環境エンジンアリンケの略称。

試験稼働までには検証必要

同型のボイラーの設置状況調査で、実証試験予定のボイラーに安全性及び熱交換システムなど安全運転管理上の様々な対策が必要と感じた。今後、民間による正常稼働までにはより多くの検証・調整が必要と判明した。

まとめ

委員会では、今後さらに検証と確認を重ねる必要があると判断した。

？ むるせとクイズ

★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で5名様に粗品を進呈いたします。

参加のきまり

下のハガキまたは、裏面のFAX用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会への伝言を記入し、お送りください。
※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
みなかみ議会だより
「ふるさとクイズ・ご意見」係
締切：2019年5月31日(当日消印有効)
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

問題 スリーバースリー
3×3バスケットボールは、1チーム何人制?

- Ⓐ 3人 Ⓑ 4人 Ⓒ 6人

前回の議会だより57号ふるさとクイズの正解は「◎9番目」でした。

郵便はがき

群馬県利根郡みなかみ町後閑318

みなかみ議会だより
「ふるさとクイズ・ご意見」係

記入欄は裏面にあります

沼田局承認 714
差出有効期間 2020年3月31日まで (切手不要)
料金受取人私郵便

山-折-り-線



雨上がりの初越水仙(フォトコンテストより)



皆さんの
おたより

ハガキの方は、この線で切り取り
内側へ貼り合わせて投函してください。

FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127

沢山のご意見を頂き、ありがとうございます。

- ・明日は我が身と心を引き締め職務に当たって下さい。本年は明るい元氣な町でありますように。
- ・停滞していた議会が活動し、ご活躍を願っております。
- ・表面使用の写真がステキで手元に置いておきたい。はがきを提出するのが残念。
- ・声援の中に感想も頂きました。はがきで使用しているフोटコンテストの写真は、本当にステキな写真ばかりで感謝しております。このほか頂いたご意見は、19頁にも掲載しておりますのでご覧下さい。

※問い合わせ
☎25-5023
(議会事務局直通)

○クイズの答え ⇨ _____

○差出人住所 ⇨ 〒 _____

(ふりがな) _____

○差出人氏名 ⇨ _____

○年代 ⇨ ・ ~10代 ・ 20代 ・ 30代
 (該当項目に○印を付けてください) ・ 40~60代 ・ 70代~

○議会への伝言 _____

ご意見 回答



粗大ごみの回収日を、軽トラがなくて搬入できない方が沢山います。

議員回答

- ・有料だが社協が対応している。周知徹底をする。 ……阿部賢一
- ・具体的計画案を作成していきたい。 ……窪田金嘉
- ・重要課題と考え、総合的に取り組んでいく必要がある。 ……石坂 武
- ・当局に繋ぎます。 ……本多公保、中島信義
- ・衣類回収同様に実施できたら良い。 ……小野章一
- ・区で集めるなど様々な回収方法を考える必要がある。 ……鈴木美香
- ・町は検討しているが経費負担が課題。440力所のごみステーションのマネー面で問題も懸念。先進事例等研究、情報収集、検討が必要。当面はシルバー人材活用、町HPの広告「ホイッサッサ」活用の検討を。 ……高橋久美子



BRと略してもピンとこない。ユネスコエコパークのアピール方法をもっと考えて。

議員回答

- ・PRはしっかりと取り組んで頂く。 ……阿部賢一、本多公保
- ・学術・収益の両面でアピールしたい。 ……窪田金嘉
- ・取り組みなどを知っていただけようPRを行いたい。 ……茂木法志
- ・積極的なアピールに向け努力します。 ……石坂 武、森健治
- ・町民にもっとアピールしてもらいたい。 ……高橋視朗
- ・議会だよりで可能な限り説明と周知をする。 ……中島信義
- ・将来のまちづくり、特に観光地の位置づけとして認識を深められる努力をしたい。 ……小野章一
- ・アピールする。町民に自慢できる場所であることを知って欲しい。 ……鈴木美香



将来の町を背負う子どもの環境等、積極的かつ本腰で取り組みないと大変なこと。

町民70代

町民と意見交換会等の語り合う場が必要。折りあるごとのPRも必要。 ……高橋久美子

- ・中学校統合、教育の質向上、エアコン設置など着実に進めています。 ……阿部賢一、中島信義
- ・健全に育つ環境づくりが重要。子ども食堂、学力低下を防ぐ場所を充実させる対策が必要で本気で取り組み。 ……窪田金嘉
- ・重要課題と考え、総合的に取り組んで行く必要がある。 ……石坂 武
- ・学校統合等動き出している。努力していきたい。 ……森 健治
- ・積極的に子育て支援の充実を図ってきたい。 ……小野章一

皆さんのご意見に議員が回答します。今回も議員個人からではありませんが、この機会に頂いた皆さんの「声」に答えます。今後は、頂いたご意見を議論し議会総意として町政に反映できるよう努力いたします。掲載以外にも多数のご意見を頂きありがとうございます。 ※前号では回答議員が明らかでない上、説明が不足していたことをお詫び申し上げます。また、字数の関係で簡略的表記を使用しています。



※詳細はこちら

募集

議会だよりでは、掲載データのご提供や紙面編集に詳しい方のご意見をお待ちしております。

みななの議会づくりにご協力下さい。

編集にご協力できる方 データを提供下さる方

6月初旬に町のホームページで募集内容を発表します。募集から約3週間以内にご提供をお願いします。

議会傍聴のご案内

傍聴は、どなたでもできます。ただし、当日に議場入口で受付を済ませてからご入場ください。

…………… 流れ ……………

- ①受付にて「受付表記入（住所・電話番号・氏名・年齢）」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※注意／飲食・録画・録音・写真撮影は禁止。

次回の定例会は

**6月 4日（火）～
6月14日（金）の予定。**

場所：役場本庁舎3階議場

時間：開会は9時

席数：34席

【問合せ先】議会事務局
☎25 - 5023

委員会構成変更 (2019.3～)

小林 洋議員の議員辞職により、委員会構成が変わりました。

産業観光常任委員長	鈴木 初夫
産業観光常任副委員長	本多 公保
議会運営委員長	石坂 武
議会運営副委員長	森 健治
ごみ処理調査特別副委員長	阿部 賢一

議会だより編集特別委員会

委員長…	森 健治
副委員長…	高橋久美子
委員…	鈴木 美香・阿部 清 窪田 金嘉・本多 公保 中島 信義
編集アドバイザー	利根川太郎
編集モニター	利根商業高等学校生徒

【お知らせ】議会事務局員1名が変わりました。新任：泉 雪江 引き続き宜しくお願い致します。

編集モニター アドバイス



利根商 生徒会

今回は、利根商生徒会の皆さんにアドバイスを頂きました。褒められたことはそのままに、指摘事項の次の点を取り入れて編集しました。

- 1. 字体が固い。内容や文字が多く読みにくい。
- 2. 子どもも読める話題を入れて欲しい。

昨年も大活躍

〈総合ビジネス部〉3年 白井さん（左）・1年 本多さん（右）



日本政策金融公庫主催の「高校生ビジネスグランプリ」で、谷川温泉水を使った化粧水と入浴剤販売プランを発表し、全国4,359件（396校）中、ファイナリスト10件に次ぐセミファイナリスト10件に選出されました。更に、地元自慢を探してビジネスに繋げる試みを募集した、千葉商科大学「地元再発見コンテスト」で3年生7名の課題研究調査研究班が最優秀賞を獲得！ 地域のためにもいろいろと頑張ってくれています。

二人それぞれのコメント

応募のきっかけ

白井：多くの人にみなかみの魅力を知ってもらいたい。
本多：地域貢献できるプランをまとめたい。

苦労した点は

白井：3年後の収支計画を求める点。
本多：言いたいことを簡潔にまとめ意図を伝えること。

応募前と後の変化

白井：不安が達成感に。
本多：不安が嬉しさに。



全国町村議会議長会自治功労者 議員15年表彰

みなかみ町から4名の方が受賞されました。

森 下 直 元議員（後 閑）
小 野 章 一 議員（石 倉）
久 保 秀 雄 議員（阿能川）
高 橋 市 郎 議員（上 津）

GO! オリンピアン

「MINAKAMI TOWN. EXE」

ミナカミタウン ドット エグゼ ～ プロバスケットボールチーム～



町の お宝紹介



「ミナカミタウン ドット エグゼ」は町内初、いいえ群馬県内で初の3人制プロバスケットボール「3×3」のチームです。「3×3」は、「3on3」として知られるストリートバスケットボールを、2007年に正式な競技種目へ発展させたスポーツで、2017年には「オリンピックの正式種目」になりました。2018シーズンのチーム構成員は6名でバスケットボールを通して、新たな旋風をみなかみに巻き起こしてくれています。

地域に貢献

「ミナカミタウン ドット エグゼ」は、いくつもの顔を持つ？ 週に2回、社会体育館でバスケットボールのスクールを開催して、世界的に盛り上がりつつある「3×3」の普及と次世代の育成を行っています。代表の大家俊さんはみなかみ町の出身。ほかにメンバーで埼玉県出身の津川隆治さん、渋川市出身の日向謙人さんの3名は町内に住みU・Iターナーとしても町に貢

みなかみから世界へ

なぜ、みなかみで「3×3」なのか。「通常の5人制バスケットボールに比べ、コートの大ささが半分で済む。つまり、広い屋外の場所がなくても開催でき設置も

盛り上げてくれています。貢献してくれています。更に3名は「SOLUTIONS」という光触媒コーティングや浴場スリッパ防止施工を行う合同会社を設立し、町内起業家として活躍するなど正に多彩。多方面でみなかみを盛りに上げてくれています。



簡単。試合形式練習は6名以下で実施。少人数開催が可能な面は、人口の少ないみなかみに適していると考えた。また「悪天候時は、室内で開催して屋外での観光を予定していたお客様にも対応することができ、スポーツと観光を結び付けられる」。

「今後は、町内外の学校で講習会などを開催して、更なる普及が図れると良い。町や議会へはそうした普及活動強化のために、老朽化して危険なトレーニング機器の補完や、他自治体で行っているプロ誘致の補助などに取り組んで頂きたい。スポーツ振興で町を盛り上げ、いずればみなかみからオリンピック選手を輩出することがチームの夢」と話してくれました。

「蕎麦処」にたどり着く

月夜野 守藏(まもくら)(Mamogura)

吉田

守さん

47歳(上津区)

郁絵さん

39歳

編集後記

一年で最も心が和む、桜の便りが届く季節となってきました。

昨年の10月に町民の大きな期待の中、新町長が誕生しました。初めての年度会計予算を手がけ、無事、議会も可決通過し、新年度がスタートしました。間もなく新天皇、新元号となり、町民の方々、行政、議会も町の将来に希望を持って見据えていきましょう。

議会だより編集委員会で、皆様の大切な声に耳を傾け、議会、議員の活動等をきめ細かくお伝えしたいと考えております。そして、皆様からいろいろなアイデア、アドバイス、またこんなシリーズをといたことを、ぜひ投げかけてください。

(中島 信義)



移住・定住シリーズ⑱

埼玉県出身の守さんは、まだ東京で働きたかった妻の郁絵さんの出身地みなかみで蕎麦処を始めました。様々な職種を経験されてたどり着いた蕎麦職人の道ですが、自宅兼店舗の蕎麦処へは地元人でもたどり着くのが難しいらしい。

なぜ、移住を？

東京に居た頃に食べた義父さんの作った米の美味さ。遊びに来た時に見た憧れていた景色。水の美味しさ。昔ばなしのような紅葉の山々。全てが素晴らしかった。

住んで良かったことは？

最高です。空気・水のキレイさ、稲の香り、大自然!! 蛭や沢ガニ、カエルの大合唱! 野菜、山菜の美味しさ! 温泉の気持ち良さ!

お困りのことは？

「自分で出来るコトは自分で」で、店の看板や地図を作ったんですが、目立ってくれなくて、わかりづらかった(泣)。只今、新たに製作中。

提案されたいことは？

18湯など、有名な観光地にもかかわらず、観光客に対しての交通の不便さ、各スポットを廻れる交通網が欲しい。

あと、県内でロードバイク(自転車)が盛んになっている。みなかみ町でも良いコースやロケーションがあるので、呼び込めればと思う。

夢は？

開店から約半年。色々な出逢いが出来、繋がりでこの守藏を育ててもらっています。これからも、ゆっくりできて、楽しんで、食べて頂くことが続くようにしたい。

議会に一言

町の合併で素晴らしい場所がたくさん出来た。みなかみ町が一つの大きな輪になればいいな。と思う。

町民へのメッセージを

よそ者の自分を温かく迎えて下さりありがとうございます。分かりにくい場所ですが、美味しい蕎麦を食べに来して下さい。



店内にて 吉田さんご夫妻

